令和８年度　中学生チャレンジテスト

大阪市の結果概要

【３年生】

大阪市教育委員会事務局

令和8年度　中学生チャレンジテスト（3年生）　調査概要・各教科の結果

1.調査の目的

※実施校数、実施生徒数、平均点、無解答率の（　　）内の数字は大阪府の値です。
　また、集計値/グラフは、9月2日に調査実施した生徒を対象として集計した値です。

(1) 大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒の課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。加えて、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学者選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
(2) 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組みを通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
(3) 学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
(4) 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。

2.調査実施日

令和8年9月2日（水）

3.調 査 対 象

〇対象学年　：　中学校3年　　〇実施校数　：　130校（471校）
〇実施生徒数：　15,222人（57,059人）

4.調 査 事 項

〇学力に関する調査　　国語・数学・英語・社会・理科（A・B）
〇学習状況に関する調査　生徒アンケート

各教科の結果

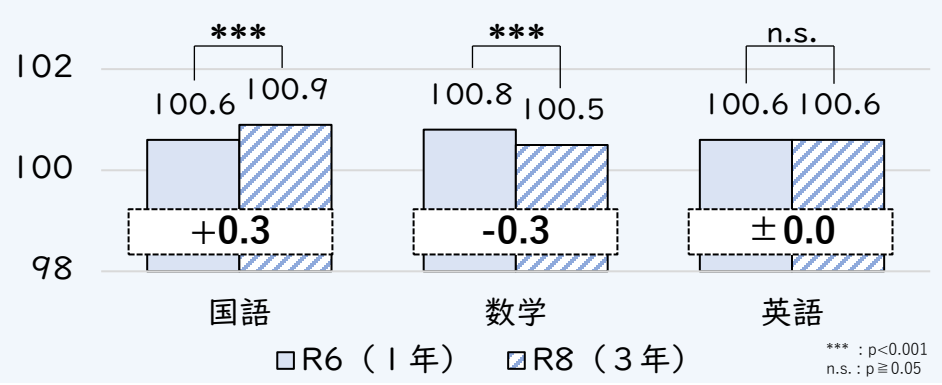
※大阪府の平均点を1としたときの大阪市の割合を「対府比」として表しています。
※( )は大阪府の数値を示しています。

R8	平均点	無解答率	平均点の対府比
国語	59.1（58.5）	6.8（7.6）	1.01
数学	43.7（43.4）	15.3（16.7）	1.01
英語	51.7（51.1）	7.0（7.8）	1.01
社会	48.6（48.3）	4.1（4.7）	1.01
理科A	50.6（50.5）	3.9（4.5）	1.00
理科B	53.3（52.8）	3.9（4.5）	1.01

標準化得点を活用した経年分析

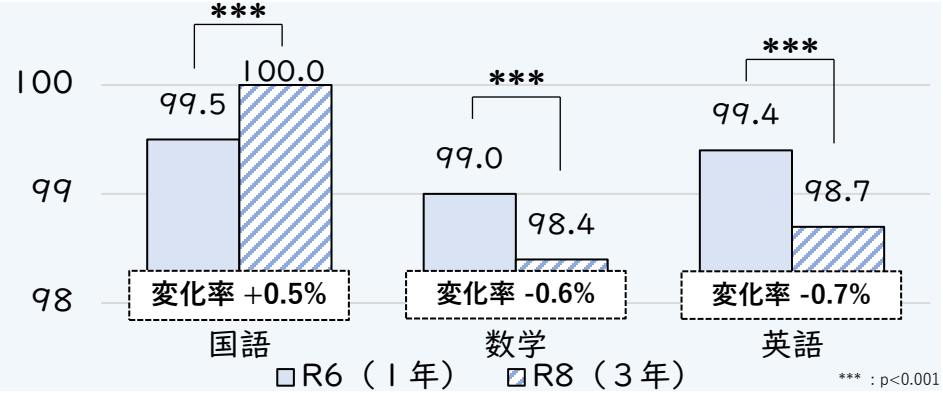
標準化得点を活用した経年分析

※標準化得点は年度間の相対的な比較ができるよう、大阪府平均を100として統計的に計算したものです。
※令和6年度と令和8年度の両方を当日実施した生徒の対応のあるデータにより分析したものです。



【大阪市全体の経年分析】

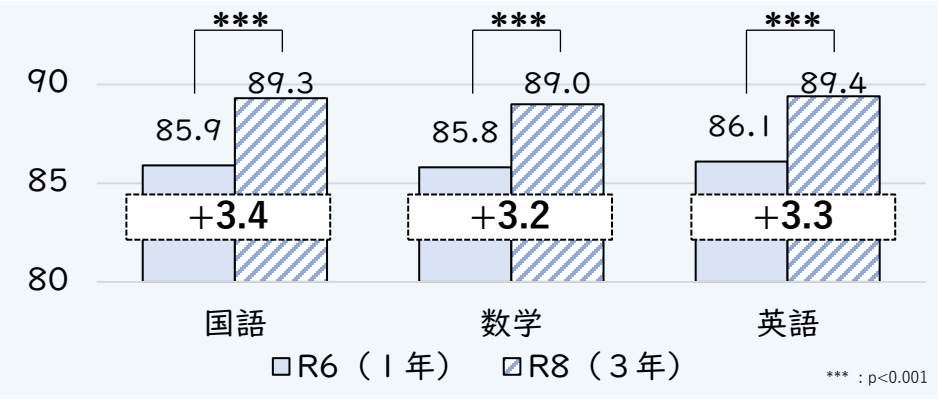
「国語」において、成績が向上していることが統計的に示されています。



【ボリュームゾーンの学力分析（変化率）】

「国語」において、成績が向上していることが統計的に示されています。

※大阪府の生徒全員の得点分布の状況から高い順に概ね25%になるように区切り、区分Ⅰ、区分Ⅱ、区分Ⅲ、区分Ⅳの４つに分け、分析しました。
※区分Ⅱ、区分Ⅲに属する層をボリュームゾーンとし、R6にボリュームゾーンに属した生徒を対象に、R6とR8の標準化得点を比較しています。



【学力に課題の見られる生徒（区分Ⅳ）の経年分析】

「国語」「数学」「英語」において、成績が向上していることが統計的に示されています。

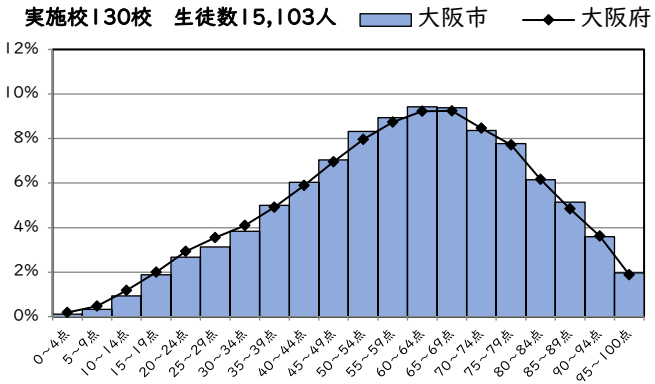
※R6に区分Ⅳに属した生徒を対象に、R6とR8の標準化得点を比較しています。

各教科の分析【国語】【数学】【英語】

国語

平均点
59.1(58.5)点

無解答率
6.8(7.6)%



良好
- □必要に応じて確かめたいことを質問すること
- □具体と抽象など情報と情報との関係について理解すること

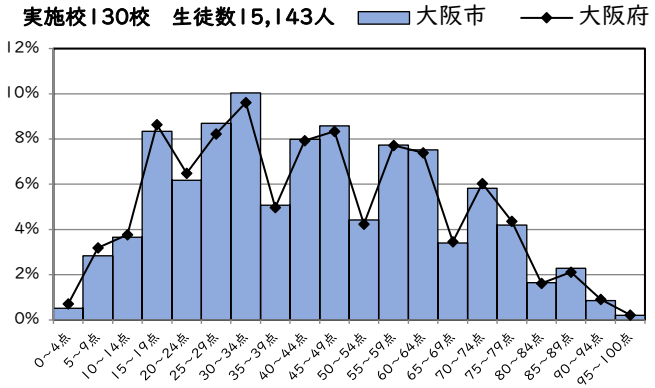
課題
- ■文章の内容をとらえ、筆者の考えを理解すること
- ■資料を活用し、根拠を明確にして話すこと

【これからの学習に向けたアドバイス】
★文章を読むときは、文章がどのような構成で書かれているのか、内容がどのように展開しているのかを意識して、筆者の主張とその根拠を確認しながら読み進めるようにしましょう。
★資料を活用して話や文章を考えるときには、聞き手や読み手に伝えたい内容が適切に伝わるように、話や文章の根拠が明確になっているかを確認しながら考えましょう。

数学

平均点
43.7(43.4)点

無解答率
15.3(16.7)%



良好
- □グラフから必要な情報を読み取ること
- □展開図で示された空間図形について、２つの面の位置関係を捉えること

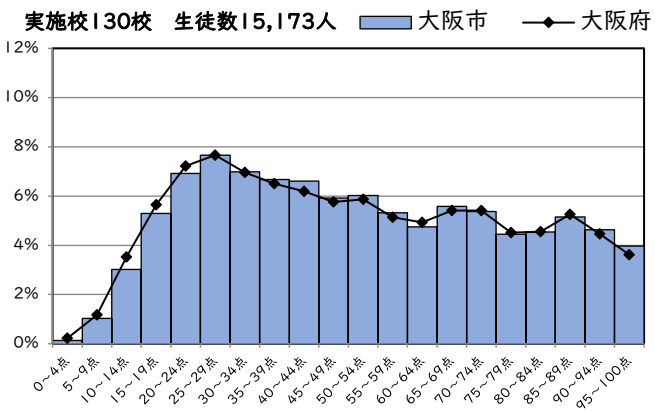
課題
- ■合同な図形の性質を用いて数学的に説明すること
- ■２つの三角形の面積の比をもとに、直線の傾きを求めること

【これからの学習に向けたアドバイス】
★どの部分の面積を比べているのかを図に示し、言葉や式で順序立て書くことが大切です。図形の共通部分に着目したり、直前の証明からわかることを利用したりして言葉や式で説明していきましょう。
★面積比を利用するために必要な長さや求めたい交点の座標など、式とグラフの特徴を関連付けて理解することが大切です。まずは図に式や座標、長さなどわかることを書き込むところから取り組みましょう。

英語

平均点
51.7(51.1)点

無解答率
7.0(7.8)%



良好
- □語や文法事項等を理解して、正しい文を書くこと
- □日常的な話題についてのまとまったやり取りを聞き、話の概要を捉えて、内容の要点を正確に把握すること

課題
- ■与えられた情報に基づいて、指示された英文を正しく書くこと
- ■社会的な話題についてのスピーチ原稿を読み、話の概要を捉えて、内容の要点を適切に把握すること

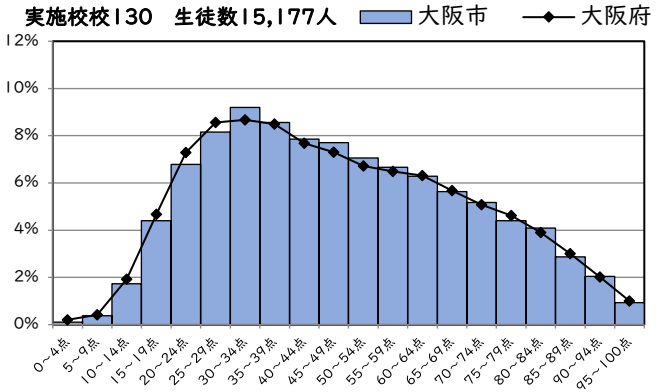
【これからの学習に向けたアドバイス】
★正しい英文を書くためには、伝えたいことについての情報を正確に捉えて整理し、文構造や文法事項を正しく用いて、適切な語順で文を組み立てながら書く練習をしましょう。
★社会的な話題の要点を捉えるためには、一文一文の意味など文章の特定の部分にのみとらわれることなく、文章全体を読み、含まれている情報の中から最も重要な情報を判断しましょう。

各教科の分析【社会】【理科A】【理科B】

社会

平均点
48.6(48.3)点

無解答率
4.1(4.7)%



良好
□地形図からさまざまな情報を読み取ること（地理）
□資料から情報を正確に読み取ること（歴史）

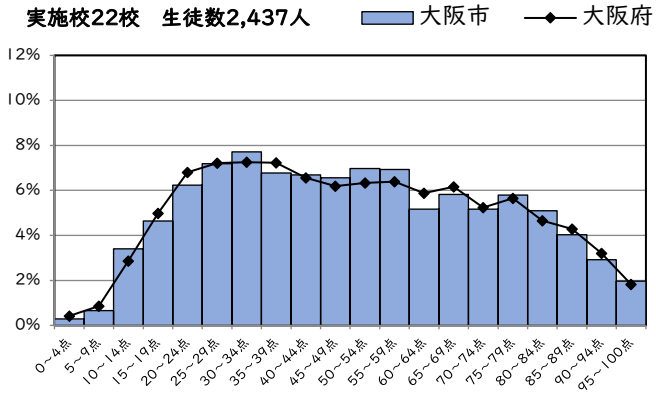
課題
■メルカトル図法と正距方位図法について理解すること（地理）
■1900年から1925年の間の租税収入の増加の背景について考察すること（歴史）

【これからの学習に向けたアドバイス】
★目的に応じた様々な地図があるため、それらの特色を踏まえた適切な活用方法を身に付けるようにしましょう。
★歴史的な事象について、時期や年代、推移、相互の関連などに着目して、多面的・多角的に考察し、説明してみるようにしましょう。

理科A

平均点
50.6(50.5)点

無解答率
3.9(4.5)%



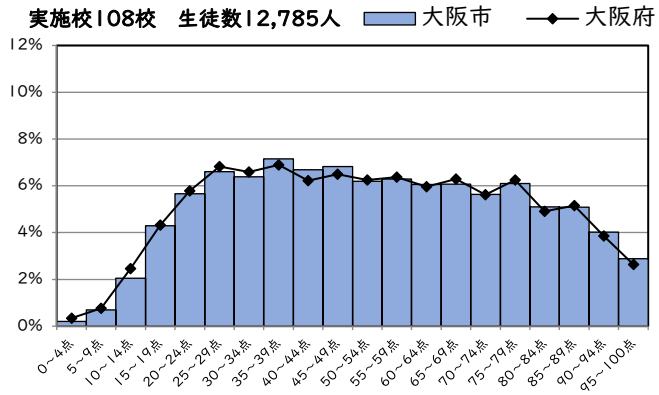
良好
□ルーペの適切な使い方を理解すること
□柱状図から、地層が堆積した順について考えること

課題
■示相化石について理解すること
■蒸留を利用して混合物を分離することについて考えること

理科B

平均点
53.3(52.8)点

無解答率
3.9(4.5)%

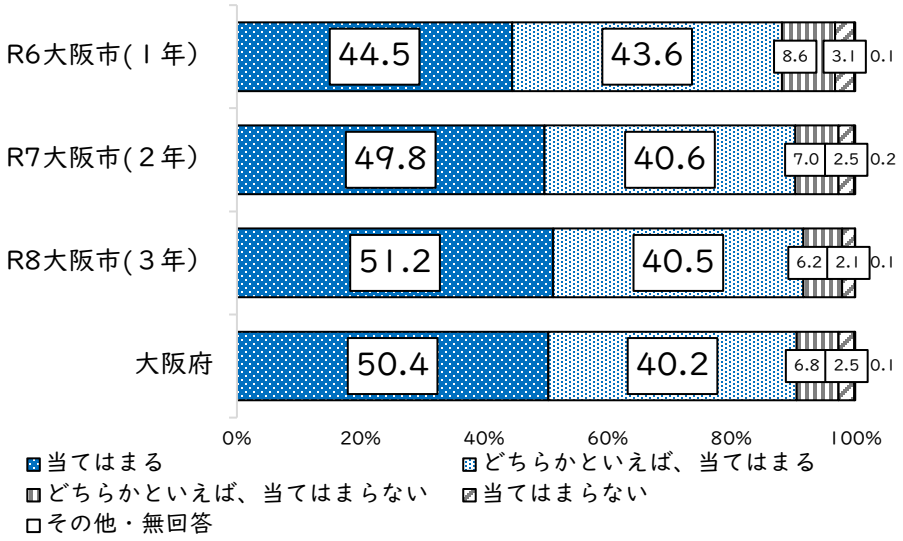


【これからの学習に向けたアドバイス】
★示相化石は地層ができた当時の環境を示し、示準化石は地層ができた時代を知る手がかりとなります。サンゴは示相化石、特定の時代に栄えた生物は示準化石として、違いを比べて覚えましょう。

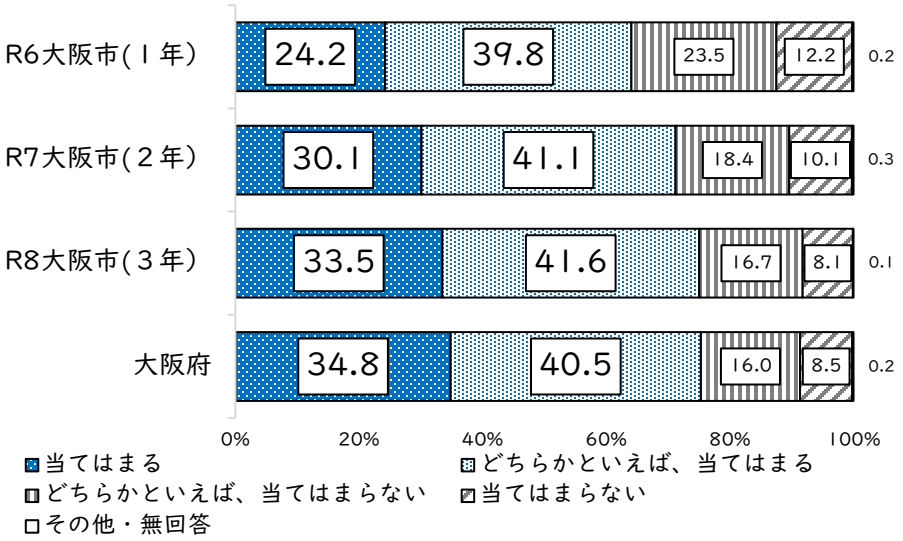
★蒸留は液体の沸点の違いを利用して混合物を分ける方法であり、加熱すると沸点の低い物質が先に蒸発します。温度の変化と合わせて蒸留の仕組みを考えましょう。

生徒アンケート結果

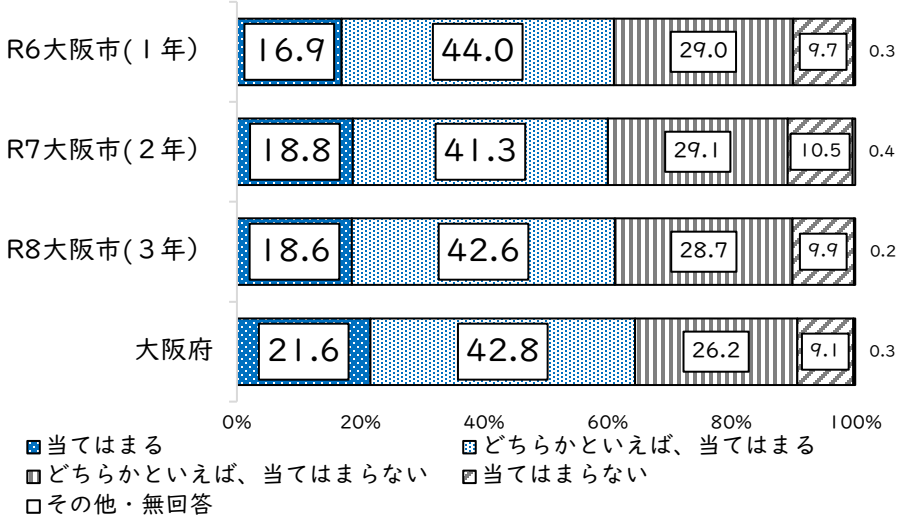
（１）文章や資料などを読むときに、どこが大事なところかを考えながら読んでいる。



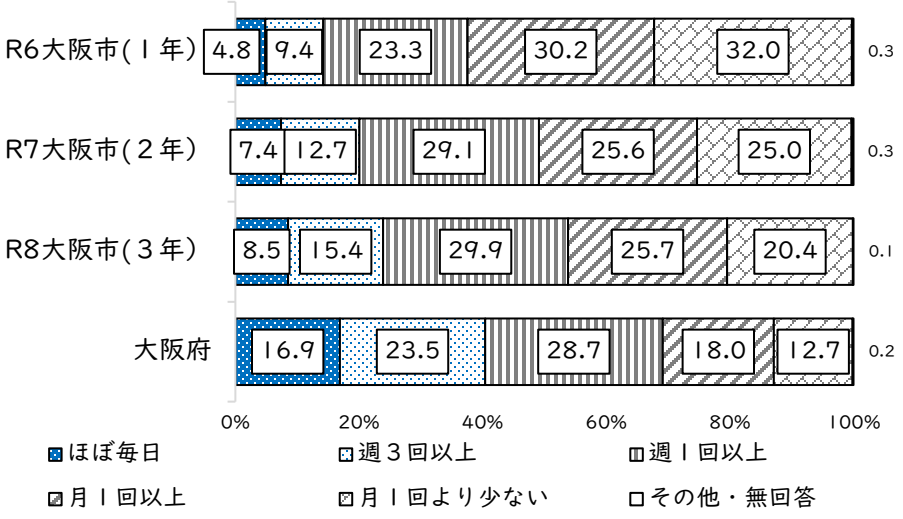
（２）わからないことや知りたいことがあったとき、図書館資料やインターネットなどで調べている。



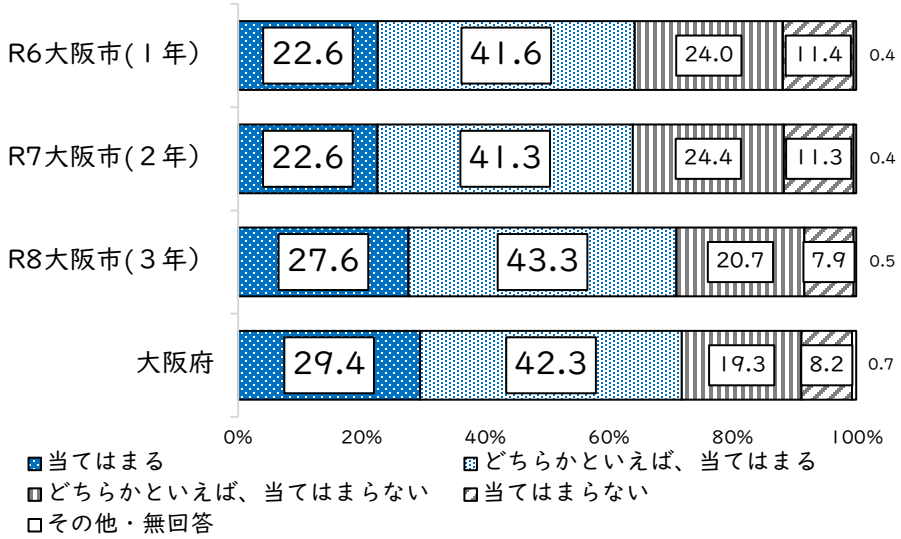
（３）授業中、思考ツールを使うなどして、自分の考えを整理したりまとめたりする場面がある。



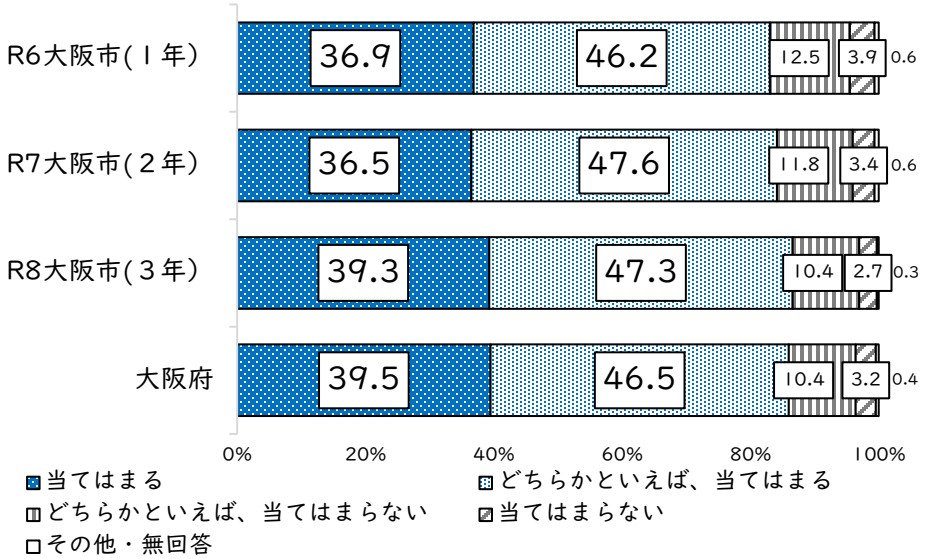
（４）授業中、PC・タブレットを使って、学級の友だちと意見を交換する場面はどれくらいありますか。



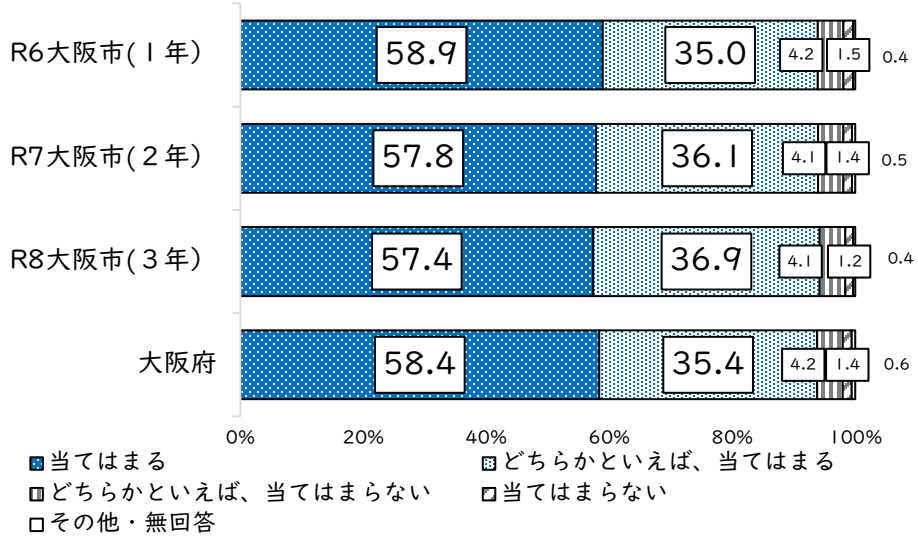
（５）家で、自分の苦手なところ、必要なところを考えて勉強している。



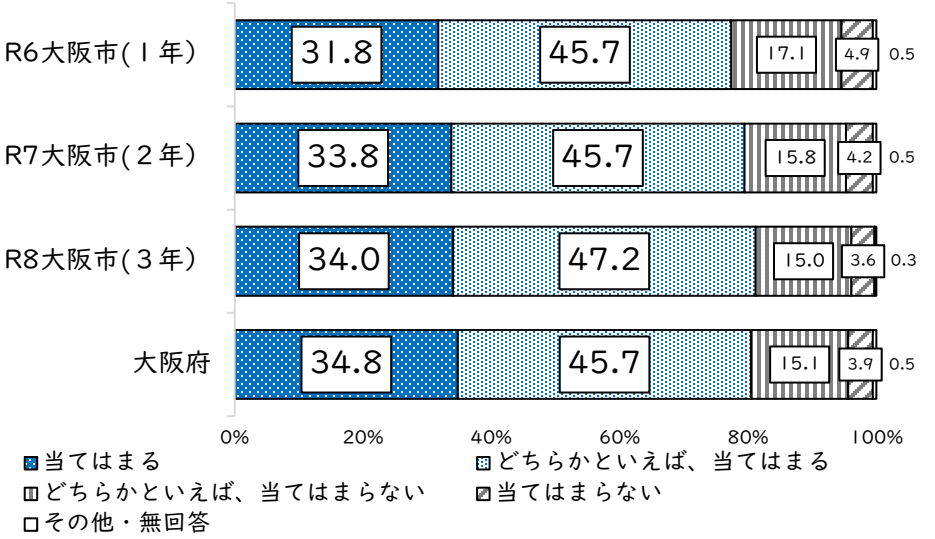
（６）あなたの学級は、違った考えや意見を受け入れる雰囲気がある。



（７）学校などで、他の人と協力し合うことができる。

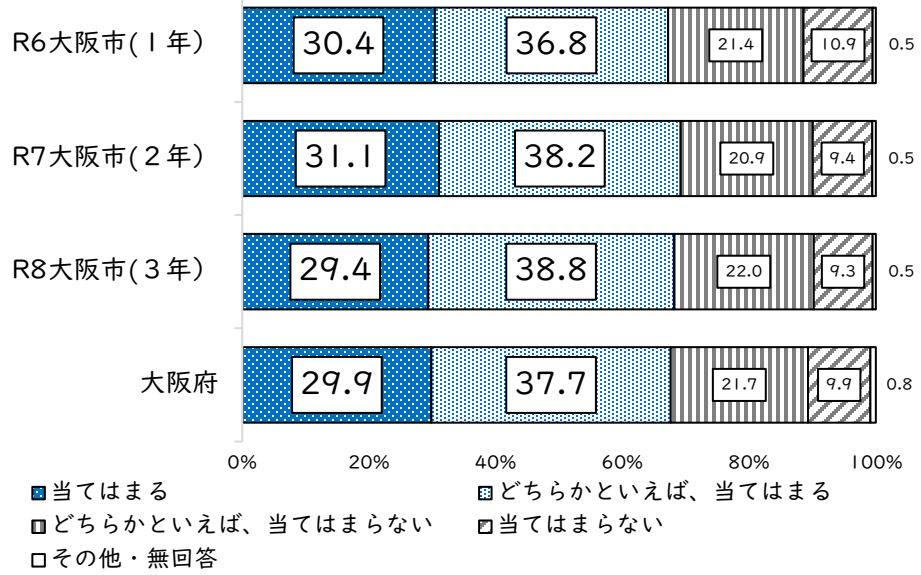


（８）難しいことがあっても、あきらめない。

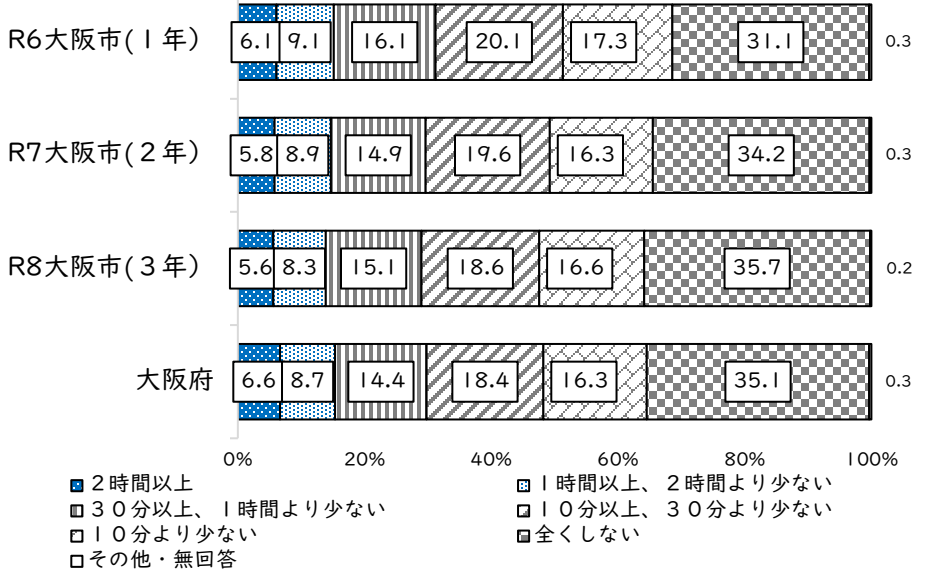


生徒アンケート結果

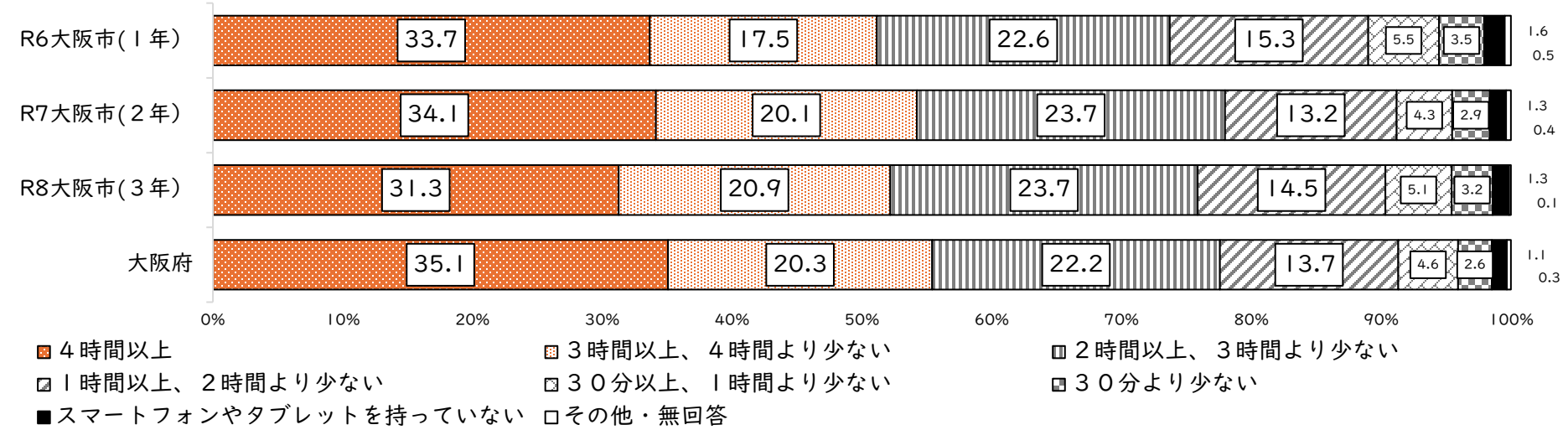
（９）テレビや新聞、インターネットで社会的な出来事に関するニュースを見ている。



（10）普段（月曜日から日曜日）、１日平均どれくらいの時間、本（教科書は除く）を読みますか。



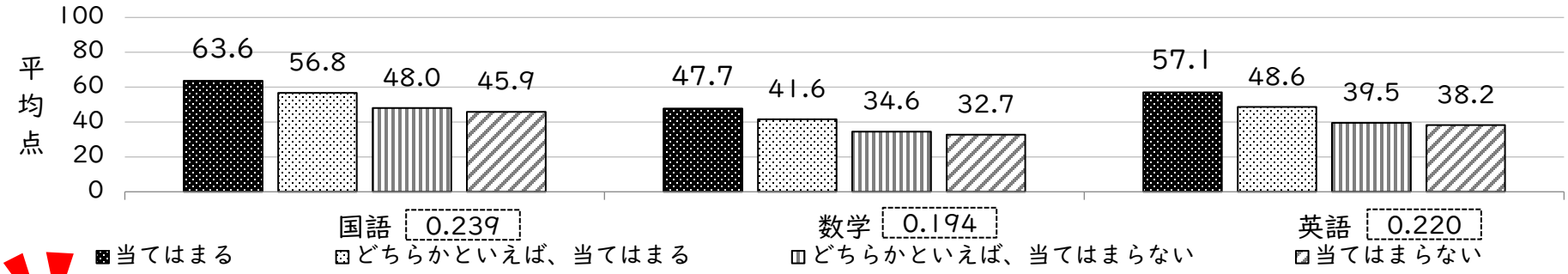
（11）普段（月曜日から日曜日）、１日平均どれくらいの時間、学習以外（ゲームやSNSなど）にスマートフォンやタブレットを使っていますか。



生徒アンケートと教科の平均点のクロス集計結果

※ [ ] 内の数値は相関係数を示しています。

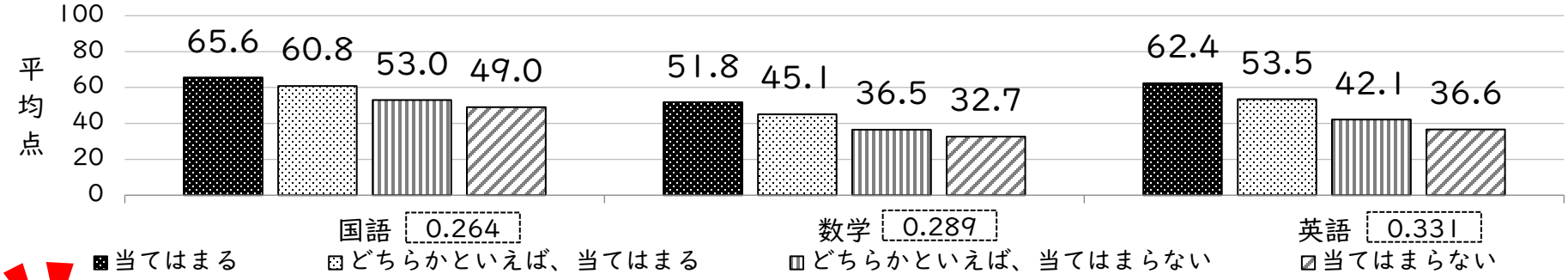
○文章や資料などを読むときに、どこが大事なところかを考えながら読んでいる。



肯定的に回答している生徒の割合は大阪府と比較して高く、肯定的に回答している生徒ほど教科の平均点が高い傾向が見られます。

文章や資料の要点を捉えることは、学習内容の理解を深めることにつながります。どこが大事なのかを考えながら読むようにしましょう。

○家で、自分の苦手なところ、必要なところを考えて勉強している。



肯定的に回答している生徒の割合は大阪府と比較して低く、肯定的に回答している生徒ほど教科の平均点が高い傾向が見られます。

自分の得意・苦手なところを振り返り、必要な学習を考えることは大切です。自分の課題に応じた勉強に取り組みましょう。